

人・農地プランに係る地域における話し合いによる
合意内容報告書

1. 実施日時 令和1年10月2日
午後6時30分 ~8時00分
2. 実施場所 JAあいち中央 三河安城支店
3. 参加人数 28名
4. 話し合いの結果
 - (1) 地域の中心になる経営体は誰か(追加分)
加藤公健様と神谷知則様の2名。追加は、なし。
 - (2) 地域の担い手は十分確保されているか(いずれかに○)
(○) 担い手は十分確保されている
() 担い手はあるが十分ではない
() 担い手はいない
 - (3) 農地流動化のための農地中間管理機構の活用方針
JA・市の方針に沿って、農地の出し手は、原則として農地中間管理機構を活用する。
 - (4) どの農地をどの経営体に集積するか(追加分)
なし
 - (5) 今後の地域農業のあり方について
 - ・ 現在のエリアを基準として、農地図面を行政に提出し、農地の集積を図っていく。
(提出済)
 - ・ 除草剤の多用による排水路の法面の崩壊の防止(草刈を行い排水路の法面の崩壊を防ぐ)
 - ・ 廃園となった梨園・温室取壊し後の畑の有効活用を考える。

上記のとおり報告します。

令和元年10月2日

箕輪町 農地利用改善組合長

岩井洋二 印

